

前回は、研究会・講師先生のお話・四部会・社会科企画などで出たご意見から、全校で取り組むと良いこと①として「対話や話し合いの力を伸ばすために」という点からまとめてみました。今回は②として「子どもの意識がつながる単元にするために」という点について先生方からたくさんご意見をいただきましたので、そのことをお伝えします。

全校で取り組むと良いこと②～子どもの意識がつながる単元にするために

Q. そもそも、「意識がつながる」とは、どういうこと？

- ・子どもの「関心」や「問題意識」などが続いていく。
(1時間の授業ごとに切れずに)
- ・今の学習が、前後の学習や生活などと結びつく。 など

○単元の導入で学習問題づくりを

- ・単元の導入（単元の1時間目か2時間目）でつくる。
- ・教科書や学習指導要領を見て、「だいたいこんな感じの学習問題にしよう」と心の中でゆるやかに決めておく。 →そこから**逆算して資料や発問を**。
- ・教科書赤刷りの例を参考に、**目の前の子どもに合わせた学習問題**にする。
- ・単元の中でテレビに映したり、掲示したりして、**子どもが常に意識できるように**。

○目的意識をもった調べ学習を

- ・調べる前に「今日はどんなことを調べるんだった？」や「まず何に注目して調べる？」など**調べる目的がもてるように問いかけ**。(学習問題や めあてを意識して)
- ・後の学習で特に大事になる資料（中心的な資料、キーになる資料）は、少し時間をとって子どもと一緒に確認しておく。
「こんな話し合いになるといいな」「こんな根拠が出るといいな」
「**そのために、この資料はしっかり押さえておこう**」のように。
- ・資料の軽重、資料の精選が大切。

○「振り返り」を大切に ※大変ですが…**できるだけ毎時間書けるといいな**と思います。

・「振り返って前を向く」

- ※自分自身で今日の（これまでの）学習を振り返って、次の学習（これからの生活）を考える という意味だそうです。
- ・「学習前は…学習後は…」「今日の自分の調べ学習は…次は…」「今後の生活で…」
「次に考えたいことは…」などの**書き出しの例を伝える**ことが有効。
※学習指導部の先生方が書き出しの例を検討してくださっています。
ありがとうございます。ぜひ参考にさせていただきます。
- ・何人かの**前時の振り返りを紹介して本時に入る**。 →前時と本時がつながる。
(本時につながる疑問、AさんとBさんの意見のズレ など)
- ・振り返りを読んで、時には単元の進み方を少し修正してみる。

Q. 社会科につなげるために1・2年生でどんなことを？

生活科では、町探検や学校探検などを通して、身の回りの ひと・もの・こと と出会うと思います。1・2年生で出会った「点」としての ひと・もの・こと が、3年生からの社会科になって、人と人とのつながりを考えたり、社会のしくみを考えたりするというように「線」や「面」になっていくそうです。

無理をする必要はありませんので、もし参考になりそうな部分がありましたら、取り組んでいただければありがたいです。

- ・地域の ひと・もの・こと への気づき(発見)を多くもったり、関心をもったり・・・
- ・疑問や予想をもつことの楽しさや良さを味わったり・・・
- ・気づき(発見)や疑問を友達と伝え合う楽しさや良さを味わったり・・・
- ・時々、社会的な視点から問いかけたり・・・

(解決できなくても、そのような視点で見たり考えたりするのが大切なようです)

例 この道はどこに続いているんだろうね？

〇〇はいつからあるのかな？ お店の人はどんなときに嬉しいのかな？